

## 【正誤表】

書 名：1・2陸技受験教室1 無線工学の基礎 第2版

版 数：第1版1刷

ページ	箇所	誤	正
1	16行目 数式	$E = \frac{Q}{4\pi\epsilon r^2}$	$E = \frac{Q}{4\pi\epsilon_0 r^2}$
	Point	～電界の向きは力の向き～	～電界の向きは電荷に働く力の向き～
	下から1行目 数式	$F = \frac{Q_1 Q_2}{4\pi\epsilon r^2}$	$F = \frac{Q_1 Q_2}{4\pi\epsilon_0 r^2}$
6	310行目 数式	$\sim = \frac{qa \cos \theta}{4\pi\epsilon_0 r^2}$	$\sim = \frac{qa \cos \theta}{4\pi\epsilon_0 r^2}$
7	下から5行目	～中心距離 $d$ が～	～中心間隔 $d$ が～
8	上から5行目	～これを分極現象という。	～これを誘電分極という。
14	11行目	～電流 $I[\Omega]$ が～	～電流 $I[A]$ が～
21	610行目 数式	$\sim \phi \int \frac{1}{\mu S} dl \sim$	$\sim \phi \int \frac{l}{\mu S} dl \sim$
22	下から2行目 数式	$e = \frac{d\phi_m}{dt}$	$e = \frac{d\phi}{dt}$
23	図 1.52 数式	$e = \frac{d\phi_m}{dt} \sim$	$e = \frac{d\phi}{dt} \sim$
24	図 1.53 のうず電流		
24	49行目	を積算力計や～	を積算電力計や～
24	1.91	* 文章中の $\phi_m$ すべて	$\phi$
24	11行目	～電流が流れ～	～電流 $I[A]$ が流れ～
29	問3の図 縦軸の値	- 0	- 4
34	問9 解説	1.33	1.34
38	問17 図2	$FN/m$	$F[N/m]$
46	問29 解説 7行目(3)	の電流が abcd の向きに流れる。	の電流が adcb の向きに流れる。
49	18行目 数式	～ $[\Omega]$	～ $[1/\Omega = S]$
50	図 2.10	* 左下の辺の抵抗値 ( $I_1$ が流れ込む)と, 右上の辺の抵抗値 ( $I_3$ が流れ込む)を $2R$ とする。	
51	図 2.11	* a-c に直列に接続されている抵抗の値を $R$ とする。	
54	図 2.20	* $I_2$ と $I_1$ の向きが逆	
65	図 2.35	* 右のグラフの破線の曲線を表す数式を $\frac{1}{j\omega C}$ とする。	
68	図 2.43	(ωL=0) をとる (2箇所)	

69	図 2.45	(ωL=0) をとる	
70	図 2.47	$j\dot{I}_S$	$j\dot{I}_B$
70	図 2.50	L が変化するとき	R が変化するとき
71	上から 4 行目 数式	- θ = ~	θ = ~
75	表 形 / A	$1 + (\dot{Z}_a / \dot{Z}_c)$	$1 + (\dot{Z}_b / \dot{Z}_c)$
76	7	~ - V cos(ωt/ω) となり ~	~ - (V/ω) cos ωt となり ~
77	2(1)3 行目 数式	$i = \frac{V}{R} e^{\frac{Rt}{L}}$	$i = \frac{V}{R} \left( 1 - e^{-\frac{Rt}{L}} \right)$
78	上から 1 行目 数式	$i = \frac{V}{R} e^{\frac{Rt}{L}}$	$i = \frac{V}{R} e^{-\frac{Rt}{L}}$
78	3(1)3 行目 数式	$Q = CV \left( 1 - e^{-\frac{t}{CR}} \right)$	$Q = CV \left( 1 - e^{-\frac{t}{CR}} \right)$
78	3(1)5 行目 数式	$i = \frac{V}{R} e^{-\frac{t}{CR}}$	$i = \frac{V}{R} e^{-\frac{t}{CR}}$
80	問 2 解答	2	1
87	問 13 解説 (1)数式	$\dot{Z} = \sim = \frac{1}{1 + (\omega CR)^2} + \sim$	$\dot{Z} = \sim = \frac{R}{1 + (\omega CR)^2} + \sim$
88	問 15 解説 3 行目 数式	$\dot{Z}_2 = \frac{2R}{1 + j\omega C_x R}$	$\dot{Z}_2 = \frac{2R}{1 + j2\omega C_x R}$
88	問 16 図 凡例	V : 交流電源電圧 [V]	$\dot{V}$ : 交流電源電圧 [V]
95	問 26 解説 数式	~ = 0.5 [Ω]	~ = 0.5 [H]
98	問 30 解説 数式	数式に含まれる“ε”はすべて“e”とする。	
99	1	(比電高)	(比電荷)
107	図 3.11	* 下向きの矢印を「逆方向電圧」とする	
108	4(3)3 行目 数式	$C = \frac{k_0}{(V + \phi)^m}$	$C = \frac{k}{(V + \phi)^n}$
111	(2)8 行目	~ 印可電圧は一定であるので、~	~ 印加電圧は一定であるので、~
118	5(1)5 行目	~ ドレイン電流 $I_D$ は 0 になる。~	~ ドレイン電流 $I_D$ は一定になる。~
124	(3)	通信用光源に適す	通信用光源に適する。
132	問 5 選択肢の単位	A	[A]
145	問 27 解答	ア - 1 イ - 2 ウ - 8 エ - 3 オ - 9	ア - 3 イ - 2 ウ - 6 エ - 10 オ - 4
147	図 4.1 左図	(出力側の向上きの矢印) $v_1$	$v_2$
155	図 4.17	* 抵抗 $R_S$ の矢印を $R_S I_D$ とする	
156	上から 4 行目 数式	~ ( $r_d // R_L // r_D$ )	~ ( $r_D // R_L // R_D$ )
159	図 4.28	* $i_2$ の向きが逆	
159	(4) 1 行目	~ $Q = C_V [C]$ の関係で ~	~ $Q = C_V [C]$ の関係で ~
173	図 4.70	* 右 2 つのダイオードの図が左右逆になっている (波形の図はそのまま)	
182	図 4.92	( * 図中右 ) PM 波	FM 波

196	問 11 図 1	* $C_{DG}$ の端子線を点線とする .	
196	問 11 図 1	* $V$ の極を逆にする .	
199	問 16(3) 2 行目	$R_1$	$R_1$
207	問 28 解答	3	5
210	上から 6 行目 の式	$X+Y=(x+y)+(u+v)$	$X\pm Y=(x\pm y)+(u\pm v)$
220	下から 6 行目	$\sim V_3$ の指示は $\dot{V}_1 + \dot{V}_2$ であるので $\sim$	$\sim V_3$ の指示は $V_1 + V_2$ であるので $\sim$
222	図 5.22	$P_h + P_2 = I_2^2 R_h$	$P_2 = I_2^2 R_h$
237	図 5.51	* 楕円形図の点 2 と点 4 の位置を点 1 と点 3 の位置に合わせる	
261	索引	稼働コイル	可動コイル
261		環送差	還送差
264		ダーマン形発振回路 . . . 169	ターマン形発振回路 . . . 168
265		電解の	電界の
265		電流力計形計	電流力計形計器
266		副標準機	副標準器
268		GasFET	GaAsFET